

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	BV-E-1		調査位置											北緯	36° 35' 45.0000"								
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-01-25 ~ 2008-03-25										東経	140° 12' 21.0000"							
調査業者名				主任技師											現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	96.80 m	角度			地盤勾配			使用機種											ハンマー	落下用具			
総掘進長	11.00 m						エンジン											ポンプ					

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10					20	
				盛土 (BS)	褐			地表付近に植物根を混入し、最大径30mmの歪円レキを含む。軟質で指圧貫入容易。粘性は高位。		0.30											
95.30	1.50	1.50		粘土混りシルト (M-C)	暗褐			粘土混りシルト状を呈し、軟質で含水比が高位である。		0.21		1/30	1/30								
94.10	1.20	2.70		強風化火山角礫岩 (Vb)	褐 - 淡褐			ほぼ岩芯まで風化しており、岩組織は残していない。コアは粘土状を呈し、レキを少量混入する。		0.14		1/15	1/15	2/30							
93.30	0.80	3.50		弱風化火山角礫岩 (Vb)	灰褐 - 暗灰			礫状からLmax=40cmの短棒状コアとして採取され、硬質ではあるが、ハンマー打撃により容易に割れる。GL-3.5 - 3.7mおよび3.85 - 4.0mでは褐色を呈する。GL-5.5 - 5.8m区間はキレツが多く破碎状を呈する。		0.14		6/6	6/31	43/30							
90.74	2.56	6.06		火山角礫岩 (Vb)	暗灰 - 褐灰			Lmax=65cmの棒状コアとして採取され、安山岩レキを多量に含む火山角礫岩で、安山岩レキの礫径は不均一である。GL-9.15 - 9.8m区間では赤褐色を呈し、新鮮で硬質な岩質を呈する。		0.14		50/6	50/6	50/6							
85.80	4.94	11.00								0.14		50/2	50/2	50/2							